

かんきょう教育学習

馬越 紬

水巻町立 猪熊小学校

わたしは、かんきょう教育学習で下水道のしくみについて学びました。社会の学習だけでは知ることができなかったことを知れて楽しかったです。それまでは、水を使い終わったらすぐ水を流していたので、もったいないなと思いました。中でも、三つの実験をして水の大切さがわかりました。

一つ目の実験では、水をきれいにするかっせい君をけんびきょうで見る実験でした。かっせい君をけんびきょうで見ると、活発に動くかっせい君や、ゆっくりと動くかっせい君などがたくさんいました。浄化センターの人に聞くと、けんびきょうで見れるかっせい君は十種類ぐらいで、けんびきょうで見れないかっせい君は百種類だと聞きました。大きさは、一ミリメートルの半分よりも小さいと聞きました。水をきれいにするかっせい君は一ぴきで百日もかかると聞いて、びっくりしました。だから、たくさんのかっせい君をかって、水をきれいにしていくことがわかりました。

二つ目の実験では、水に流せるものと流せないものを実験とクイズでしました。さいしょに、クイズでは、マルバツクイズをしました。実験では、クイズで、できたトイレトペーパーとティッシュで実験をしました。どんな実験をしたかというと、ペットボトルにトイレトペーパーとティッシュをいれて、おもいつきりふったらどう

なるのかという実験をしました。けっかを見ると、ティッシュはまだかたまりがあつて、トイレトペーパーは、こなごなになることがわかりました。これを通して、水に流していいトイレトペーパーと、水に流していけないティッシュがわかりました。

三つ目の実験では、処理場に行く前の水と処理場できれいになった水のちがいを見たり、においをかいだりする実験でした。さいしょに、しよりされていけない水をおうととでもくさかったです。次にこなに水をいれて、水のきたなさがわかる実験をしました。処理場に行く前の水をいれると、色がかわって緑色になりました。次に、処理場できれいにした水をいれてみると、ピンク色にかわりました。処理場でしよりすると、こんなにきれいな水になることにおどろきました。

この学習を通して、これから自分にできることは、水をすぐ流さないで大切に使うことや、手をあらう時に水を出しっぱなしにしないことです。今までは、何も考えずにゴミを流したりしていましたが、これからは、むだ使いたないようにがんばります。水をきれいにしてくれる人たちがいるからこそ、わたしたちが安心、安全な水がのめるということをあらためてかんじました。この学習を通して、わたしたちも水や自然をたいせつにしていきたいと思います。いのくま小学校にきてくれて、ありがとうございます。